

香港への農林水産物・食品の輸出  
に関するカントリーレポート  
(コメ・米粉・包装米飯)

2025年12月

香港輸出支援プラットフォーム

## 目次

1. 基本情報とその背景
2. コメの輸入状況と近年の動向
3. 米粉の輸入状況と近年の動向
4. 包装米飯の輸入状況と近年の動向
5. 流通経路
6. ルール・規制
7. 参照

## ◆1. 基本情報とその背景◆

農林水産省による「2024年農林水産物・食品の輸出実績」によると、香港は日本産コメ最大の輸出相手国であり、2024年の輸出額全体の27.2%を占めており、その金額は32.7億円、数量は13,474トンである。

香港に住む人々は、昔から農業が盛んな珠江デルタ地帯を含む広東省に隣接していることもあり、元来コメを主食としている。香港で消費されるコメはタイやベトナムからの輸入品で、その大半は長粒米である。白米として食するだけではなく、粥やチャーハンなど、長粒米を美味しく食べる創意工夫がなされてきた。

香港政府・食物環境衛生署が2018年から2020年にかけて実施し2021年に発表した報告書（第二次全港性食物消費量調査報告書）<sup>1</sup>によると、コメの摂取量は穀類全体の61.2%を占め、1日1人あたりのコメの平均消費量は242.1gと麺の同平均消費量（143.7g）と比較して約1.7倍多い。

とはいえ、2005年から2007年にかけて同調査が行われた際の1日1人あたりのコメの消費量は297.2gであったため、2018年から2020年にかけて行われた調査結果と比較すると約19%減少している。

香港では、古くから域内に74ヶ所ある「街市<sup>2</sup>（公設市場のこと）」での量り売りを通じたコメの小売形態が一般的であるが、ここ四半世紀は日本同様、スーパーマーケットを介した流通が一般的である。ただし、全体では「レストラン用」の流通量の方が多い。



<写真：街市で流通するコメ（筆者撮影）>



<写真：地場系スーパー「Wellcome<sup>3</sup>」の米売り場（筆者撮影）>

タイ米やベトナム米といった長粒米を輸入し卸売販売を行う業界関係者からのヒアリングによると、長粒米の流通は輸入業者から飲食店など業務用が主流であるが、日本産コメの流通は異なっている。2021年度に日本食品海外プロモーションセンター（JFOODO）が行った実態調査<sup>4</sup>によると、日本産コメの流通は、輸入者から小売店への販売がメインで

1URL : [https://www.cfs.gov.hk/sc\\_chi/programme/programme\\_firm/files/2nd\\_FCS\\_Report\\_29\\_Jun\\_2021.pdf](https://www.cfs.gov.hk/sc_chi/programme/programme_firm/files/2nd_FCS_Report_29_Jun_2021.pdf)

2URL : [https://www.fehd.gov.hk/english/pleasant\\_environment/tidy\\_market/tidy\\_public\\_markets.html](https://www.fehd.gov.hk/english/pleasant_environment/tidy_market/tidy_public_markets.html)

3URL : <https://www.wellcome.com.hk>

4URL : [https://www.jetro.go.jp/ext\\_images/jfoodo/archive/research/eight\\_items/7-1.pdf](https://www.jetro.go.jp/ext_images/jfoodo/archive/research/eight_items/7-1.pdf)

あり、スーパーマーケットやデパートの食品売り場、オンラインショップ、家族経営の小売店をあわせた小売向けの売上高は全体の 90%、日本食レストランおよび日本食レストラン以外のレストランを合わせた、飲食業向けの売上高は全体の 10%となっている。

小売向けの日本産コメは、香港在住の日本人だけでなく、日本人以外の香港に住む人々も消費している。よって、日本産コメの販売網は日系および旧日系スーパーマーケットのみならず現地系スーパーマーケットやオンラインにもあり、北海道から九州に至るまでさまざまな産地の日本産コメが流通しており、産地間競争も存在する。

業務用については、他国産ジャポニカ米と比較し日本産コメの単価が高いこともあり、日本食レストランの中には、客単価の安い昼は他国産米を、客単価の高い夜は日本産コメを使用する店舗がある。また、コメの違いが如実に表れるような「寿司(すし)」などには日本産コメを使用し、その他の料理には他国産ジャポニカ米を使用する、といった形で差別化を図る店舗もある。しかしながら、近年では日本式ファーストフード店やテイクアウト用の寿司専門店やおにぎり専門店、大手コンビニエンスストアのおにぎりとしても日本産コメは消費されており、テイクアウト用の寿司専門店やおにぎり専門店は、地下鉄などの駅構内にも販売網がある。日本産コメのニーズの高さは、いわゆる Authentic な日本料理店だけに限られたものではなくてきており、香港市場における日本産コメの裾野は広がっていると言える。



<写真：地下鉄駅構内にあるおにぎり専門店・華御結<sup>5</sup>(左)・日本料理店における白米(右) (筆者撮影)>

## ◆2. コメの輸入状況と近年の動向◆

香港ではコメを生産していないため、域内で消費されるコメを輸入に依存している。主にタイ及びベトナムからの長粒米を輸入し、この上位 2カ国の輸入額合計は全体の 72.2%、数量では同 73.3%と大きなシェアを占めているのが大きな特徴である。

2024年における 1kg 当たりの輸入単価は、日本産が 12.9 香港ドルと群を抜いて高いことに加え、輸入シェア上位の各国(タイ(同 7.5 香港ドル)、ベトナム(5.6 香港ドル)、カンボジア(5.8 香港ドル)、中国(6.3 香港ドル))のなかではベトナム産の価格競争力がカンボジア産と並んで安価であるのが大きな特徴である。タイやベトナムからコメを輸入し、香港で卸売販売を行う業界関係者からのヒアリングでは、香港内での販売量の多いタイやベトナムのコメ価格が上昇する局面では、当地の飲食店や小売店に影響が

SURL : <https://www.h-musubi.com/zh-TW/>

あるが、現状は安定している。そのため、香港市場全体で見れば、市場のコメ価格は大きく影響を受けていないとの見方がある。

しかしながら、日本からコメを輸入し香港で卸売販売を行う業者や日本料理店からのヒアリングでは、近年の日本産コメの価格高騰は急激で、これまでは価格と品質の両方で取り扱ってきた飲食店やテイクアウト店でも今後の取り扱いに影響があるというコメントがある。

なお、タイからコメを輸入する食品輸入商社からのヒアリングによると、香港で精米するよりもタイで精米する方が製造コストは安価で四毛作であるため、タイではほとんどのコメを現地で精米して香港に輸出している。これは、香りや食味の良い「ジャスミンライス」にも同じことが言えるとのことである。

その一方で、健康志向の高まりから日本産や台湾産の玄米、及び一部の中国産玄米を輸入している。日本産発芽玄米やスチーム玄米は日系あるいは旧日系スーパーマーケットで流通している。また、日本産玄米の場合は、玄米として食するだけでなく、つきたての鮮度のあるコメにこだわる飲食店や個人客が存在するため玄米で輸入し香港で精米する場合がある。2024年には日本から輸入された玄米の割合は、日本から輸入されたコメ全体の22.3%を占めている。また、日本から輸入される玄米は香港全体の玄米の輸入量中でも多く、2024年には玄米の輸入量の80.2%が日本から輸入されている（出所：香港統計局）。

表1：香港におけるコメの輸入推移

(単位：ト>、1,000香港ドル)

	2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		前年比		構成比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額								
タイ	169,703	1,465,949	156,675	1,147,645	170,436	1,191,972	152,394	1,100,646	150,333	1,130,254	-1.4%	2.7%	55.2%	57.9%
ベトナム	77,089	375,546	75,616	382,199	63,206	309,567	60,994	306,649	49,189	277,096	-19.4%	-9.6%	18.1%	14.2%
<b>日本</b>	<b>7,079</b>	<b>135,148</b>	<b>8,884</b>	<b>151,430</b>	<b>10,246</b>	<b>149,504</b>	<b>11,226</b>	<b>146,491</b>	<b>13,818</b>	<b>177,871</b>	<b>23.1%</b>	<b>21.4%</b>	<b>5.1%</b>	<b>9.1%</b>
カンボジア	20,910	136,336	10,314	62,357	9,144	52,282	12,246	70,681	27,634	159,236	125.7%	125.3%	10.1%	8.2%
中国	19,261	112,136	21,151	128,505	22,570	135,199	21,883	132,734	19,460	123,104	-11.1%	-7.3%	7.1%	6.3%
ミャンマー	3,304	9,026	2,424	7,512	3,193	11,427	3,716	14,713	3,863	17,317	4.0%	17.7%	1.4%	0.9%
パキスタン	3,860	13,303	4,520	16,345	4,437	17,085	3,540	16,913	3,677	17,072	3.9%	0.9%	1.4%	0.9%
台湾	1,304	15,865	1,662	16,744	1,364	19,119	1,156	15,777	1,039	14,403	-10.1%	-8.7%	0.4%	0.7%
オーストラリア	2,025	16,159	1,444	12,838	1,619	13,761	1,454	11,991	1,536	12,600	5.6%	5.1%	0.6%	0.6%
インド	793	7,697	938	9,008	1,015	10,146	916	9,630	738	8,371	-19.4%	-13.1%	0.3%	0.4%
<b>全体</b>	<b>313,408</b>	<b>2,354,744</b>	<b>289,284</b>	<b>1,985,815</b>	<b>290,352</b>	<b>1,944,337</b>	<b>270,486</b>	<b>1,843,051</b>	<b>272,292</b>	<b>1,950,633</b>	<b>0.7%</b>	<b>5.8%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>

1006 - RICE

出所：香港統計局「Hong Kong External Merchandise Trade」  
(2025年10月現在)

近年の香港における、コメ全体の輸入状況を見ると、コロナ以前の2017年（輸入量：334,596トン、輸入額19億4,614万香港ドル）をピークに、2018年（輸入量：325,688トン、輸入額23億2,712万香港ドル）、2019年（輸入量：316,883トン、輸入額23億3,688万香港ドル）と輸入量は減少傾向にある。また、表1にあるように、金額では2020年の全体の輸入額23億5,474万香港ドルをピークに減少傾向にある。ただし、直近の

2024年は、金額で前年比 5.8%増の 19 億 5,063 万香港ドル、数量では同 0.7%増の 272,292 トンであった。

前述のように香港でのコメの消費量が減少する中、日本産コメの輸入は年々増加し、2024年には金額では全体の 9.1%、数量では同 5.1%のシェアを占めるようになった。日本産コメを輸入し卸売販売を行う食品輸入商社や、日本産コメを販売する小売店からのヒアリングによると、これは、為替相場の影響もさることながら、日本に旅行する観光客や渡航客が増加し、他国産米とは違う美味しさのある日本産コメに触れたことで、香港で日本食を食べる際に他国産短粒米ではなく日本産コメが求められるようになった影響が大きい。

日本産コメの輸入は 2024年には金額ベースで前年比 21.4%増の 1 億 7,787 万香港ドル、数量ベースでは同 23.1%増の 1 万 3,818 トンであった。

表 2：香港における玄米の輸入推移

(単位：トン、1,000香港ドル)

	2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		前年比		構成比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額								
日本	1,786	22,017	2,692	30,219	3,236	33,258	2,930	28,257	3,083	28,316	5.2%	0.2%	80.2%	76.7%
タイ	1,082	10,002	830	7,760	693	6,636	673	6,432	592	5,983	-12.0%	-7.0%	15.4%	16.2%
台湾	183	3,361	173	2,833	221	3,469	142	2,065	128	1,975	-9.6%	-4.4%	3.3%	5.3%
中国	38	374	34	356	37	414	20	233	23	332	17.2%	42.5%	0.6%	0.9%
米国	0	0	5.1	101	0	0	7.8	181	5.8	125	-25.9%	-30.9%	0.2%	0.3%
韓国	0	0	4.4	177	0	15	0.4	37	3.1	75	648.7%	102.7%	0.1%	0.2%
ベトナム	0	0	0	0	0	0	0	0	6.5	74	N/A	N/A	0.2%	0.2%
イギリス	0	0	0	0	0	0	2.3	37	1.3	46	-41.7%	24.3%	0.0%	0.1%
オーストラリア	0.6	10	0	0	0	0	0	0	1.2	13	N/A	N/A	0.0%	0.0%
フランス	0.1	11	0	0	0	0	0	0	0	0	N/A	N/A	0.0%	0.0%
全体	3,090	35,775	3,739	41,446	4,187	43,792	3,775	37,242	3,844	36,939	1.8%	-0.8%	100.0%	100.0%

100620 - RICE, HUSKED (BROWN)

出所：香港統計局「Hong Kong External Merchandise Trade」  
(2025年10月現在)

香港人の健康志向の高さから、雑穀米は古くからタイ産を中心に輸入されている。たとえば、香港内に 200 箇所の売り場を持ち、有機の健康的な食品を販売している「Green dot dot<sup>6</sup>」では、十穀米をカナダから、十五穀米を中国本土から調達し 25 年以上販売を行なっている。

さて、香港における雑穀米の輸入は 2017年には全体で 2,121 トン、2018年には 1,719 トン、2019年には 1,532 トンと減少傾向にあるものの近年は安定的に輸入されている。ただし、コメ全体の輸入量・金額と比較するとその数量及び金額は少ない。2024年の場合、雑穀米の輸入量はコメ全体の輸入量と比較して 0.6%にあたる 1,652 トン、金額では同 1.0%にあたる 1,931 万香港ドルにすぎない。

<sup>6</sup>URL : <https://greendotdot.com>

表3：香港における雑穀米を含むその他のコメの輸入推移

(単位：トン、1,000香港ドル)

	2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		前年比		構成比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額								
タイ	1,167	19,431	1,093	14,882	1,135	14,167	1,099	12,094	1,454	15,169	32.3%	25.4%	88.0%	78.6%
台湾	1.0	22	8.4	204	167	4,660	122	3,577	117	3,342	-3.5%	-6.6%	7.1%	17.3%
ベトナム	22	226	125	699	719	3,117	88	463	71	430	-18.8%	-7.1%	4.3%	2.2%
日本	0	0	0	0	0	0	0	0	2.9	176	N/A	N/A	0.2%	0.9%
イギリス	1.0	18	4.5	87	1.6	35	1.3	26	3.8	85	200.0%	226.9%	0.2%	0.4%
米国	4.5	278	42	1,666	2.5	174	0.1	3.0	1.2	70	1886.9%	2233.3%	0.1%	0.4%
カナダ	2.0	204	2.0	195	2.5	237	0.2	20	0.2	24	16.7%	20.0%	0.0%	0.1%
オーストラリア	0	0	0	0	1.9	32	0	0	1.2	14	N/A	N/A	0.1%	0.1%
パキスタン	85	769	44	432	23	257	23	265	0	0	-100.0%	-100.0%	0.0%	0.0%
スリランカ	0	0	0	0	1.0	16	2.1	23	0	0	-100.0%	-100.0%	0.0%	0.0%
全体	1,287	21,037	1,365	18,536	2,060	22,813	1,334	16,471	1,652	19,310	23.8%	17.2%	100.0%	100.0%

10063090 - RICE, OTHER THAN WHITE AND GLUTINOUS RICE, SEMI-MILLED OR WHOLLY MILLED, WHETHER OR NOT POLISHED OR GLAZED

出所：香港統計局「Hong Kong External Merchandise Trade」(2025年10月現在)



<香港のスーパーマーケットで販売される雑穀米（筆者撮影）>

また、前述のとおり、香港に輸入されるコメは長粒米が主だが、寿司用として中国産や台湾産、米国産の短粒米も輸入されており、これらが日本産のジャポニカ米と競合する。

香港におけるスーパーマーケットで流通しているコメは、タイ産やベトナム産長粒米の場合は精米され8kg単位で真空パックしたものが主流である。その一方、日本産コメは2kgや5kg単位の真空パックが主で、1kgや1.5kg単位の真空パックの精米も流通している。

ジェトロが2024年11月から2025年2月にかけて小売向けの現地市場価格調査を行ったところ、日本産コメの小売価格は、富裕層向けのスーパーマーケットでは2kgあたり石川・山里清流 192香港ドル（約3,840円）、新潟県南魚沼産コシヒカリ 2kgあたり172香港ドル（約3,440円）、アッパーミドル向けスーパーマーケットでは北海道産ななつぼし無洗米 2kgあたり129香港ドル（約2,580円）、新潟県産こしいぶき 2kgあたり79香

港ドル（約 1,580 円）、ローワーミドル向けのスーパーマーケットでは北海道産ななつぼし 2kg あたり 69 香港ドル（約 1,380 円）であった。

表4 香港におけるコメの小売販売価格（2024/2025 年）

品目名・商品名	販売単位	販売価格 (現地通貨)	原産国・産地	販売店の種別	販売店のターゲット
御品皇 最上級タイ産ジャスミンライス (香り米)	8kg	105	タイ	現地系	ローワーミドル
金象 最上級ジャスミンライス (香り米)	8kg	112.9	香港	現地系	ローワーミドル
金鳳 最上級香り米	10kg	194	タイ	現地系	ローワーミドル
クリスタルブランド 極上パール米	1.5kg	39.9	中国	現地系	ローワーミドル
クリスタルブランド 台湾パール米	1.5kg	45.9	台湾	現地系	ローワーミドル
米国産熊井パールライス	3kg	79.00	米国	現地系	ローワーミドル
ジャポニカ米・穂のかおり	2kg	50.00	中国	現地系	ローワーミドル
五常大米	3 kg	138.90	中国	現地系	ローワーミドル
安田精米 北海道ななつぼし	2kg/パック	69.00	日本 (北海道)	日系	ローワーミドル
ホクレン ななつぼし 無洗米	2kg/パック	129.00	日本 (北海道)	現地系	アッパーミドル
北海道米 ゆめひかり 無洗米	2kg/パック	179.00	日本 (北海道)	現地系	アッパーミドル
青森県産 まっしぐら	1500g/パック	49.90	日本 (青森県)	現地系	アッパーミドル
JA RICE 新潟産こしいぶき	2kg/パック	79.90	日本 (新潟県)	現地系	アッパーミドル
岩手県 ひとめぼれ	2kg/パック	155.00	日本 (岩手県)	現地系	富裕層
山里清流 コシヒカリ	2kg/パック	192.00	日本 (石川県)	現地系	富裕層
JA魚沼 南魚沼産コシヒカリ	2kg/パック	172.00	日本 (新潟県)	現地系	富裕層
ナカノ 丹波産キヌヒカリ	2kg/パック	154.00	日本 (京都府)	現地系	富裕層
八代目儀兵衛 料理米シリーズ 結	2kg/パック	198.00	日本 (京都府)	現地系	富裕層
東洋ライス 金芽ロウカット玄米 BG無洗米	1kg/パック	65.00	日本	現地系	富裕層

出所：ジェトロ香港調べ（2025 年 3 月）

それに対し、ローワーミドル向けスーパーマーケットでは、寿司に向いているとされる米国産熊井パールライスが 3kg あたり 79 香港ドル（約 1,580 円）、中国産ジャポニカ米・穂のかおり 2kg あたり 50 香港ドル（約 1,000 円）、中国産五常大米 3kg あたり 138.9 香港ドル（約 2,778 円）である。中でも中国・黒竜江省の五常で生産された五常大米は長年品質改良が行われてきた中国産ブランド米で、安心安全で香りも食味も良く、艶があり食味の良いご飯として認識されている。



< 香港における小売用中国産ブランド米（筆者撮影） >



<香港における小売用台湾産ブランド米（筆者撮影）>



<香港における小売用日本産ブランド米（筆者撮影）>

香港における日本料理店やテイクアウト店からのヒアリングによると、日本産米に関しては一般的に粘りのあるコメよりは、粘りが少なく粒のしっかりしたコメ、旨みのある香りの良いコメが好まれる傾向があるとのことであった。香港では上記のように様々な地域のブランド米が流通しているが、日本人に好まれる米粒のやわらかさや甘さといった食味の特徴を伝えるような POP を伴って販売されている小売店はごく一部である。

一方、「三代目俵屋玄兵衛」を運営する Wakka International では、香港での創業以来、業務用、小売用ともに、コメの特徴や保存方法、調理方法を伝える企業が存在するものの、多品種流通している日本産コメのそれぞれの特徴が広く浸透しているとは言えない。



7URL : <https://tawaraya.com.hk/jpn/>

<写真：SOGO HONG KONG<sup>8</sup>で販売されるブランド米(筆者撮影)>

なお、スーパーマーケットやミニスーパーの売り場では、上記写真のように精米されたコメを適切な温度管理のもと店頭で陳列・販売している小売店はごく一部で、ほとんどが温度管理を行わずに店内の常温のまま店頭で陳列・販売されているのが現状である。

### ◆3. 米粉の輸入状況と近年の動向◆

コメを主食とする香港では、米粉で作られた様々な加工食品も流通している。

たとえば、飲茶のメニューにある、腸粉（叉焼や海鮮のライスペーパー包み）や大根餅には、上新粉に似た米粉が使用されている。また、香港では米粉で作られたフォー（河粉）やビーフン（ビーフンを中文では「米粉」と書く）、米線、瀬粉などの麺がある。これらの麺は、生麺や乾麺だけではなくカップ麺やインスタント麺として販売されるほど市場に浸透している（表5参照）。

表5：香港における代表的な麺の種類



種類	読み方	色	特徴
幼麵	ヤウミン	黄色	小麦粉を卵でつないでいる細麺
粗麵	チョウミン	黄色	小麦粉を卵でつないでいるちぢれ太麺
公仔麵	ゴンヂャイミン	黄白色	インスタントラーメン。出前一丁など。
烏冬麵	ウードンミン	白色	小麦から出来ている日本風の麺。
米粉	マイファン	白色	米粉から出来ている極細麺(ビーフン)
米線	マイシェン	白色	米粉から出来ている細麺
瀬粉	ライファン	透明に近い白	米粉から出来ている中太麺
河粉	ホウファン	透明に近い白	米粉から出来ている幅広できしめん風の麺

(出典：ジェトロ香港)

香港では、域内で消費される米粉のほとんどを輸入に依存している。中でもタイ産の米粉の輸入額は全体の 95.3%を占め、数量では同 96.9%と大きなシェアを占めている。

<sup>8</sup>URL : <https://www.sogo.com.hk/tc>

表 6：香港における米粉の輸入推移

(単位：トン、1,000香港ドル)

	2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		前年比		構成比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
タイ	15,108	132,063	17,799	154,140	14,567	129,983	11,315	100,900	10,307	87,099	-8.9%	-13.7%	96.9%	95.3%
ベトナム	90	937	124	1,347	166	1,815	115	1,364	188	2,403	63.6%	76.2%	1.8%	2.6%
インド	1.4	10	0	0	2.3	16	0	0	94	877	N/A	N/A	0.9%	1.0%
<b>日本</b>	<b>25</b>	<b>702</b>	<b>42</b>	<b>898</b>	<b>38</b>	<b>864</b>	<b>32</b>	<b>721</b>	<b>26</b>	<b>593</b>	<b>-17.8%</b>	<b>-17.8%</b>	<b>0.2%</b>	<b>0.6%</b>
インドネシア	1.6	10	0.02	0.5	3.6	30	8.0	78	16	147	105.0%	88.5%	0.2%	0.2%
韓国	0.8	17	0	0	1.7	28	0.03	1.0	6.4	136	23603.7%	13500.0%	0.1%	0.1%
台湾	5.1	132	4.3	128	3.7	117	1.9	62	2.9	121	56.5%	95.2%	0.03%	0.1%
米国	0.9	26	0.2	6.0	0	0	0.1	3.0	0.8	30	920.0%	900.0%	0.01%	0.03%
マレーシア	2.8	196	1.6	110	0.4	42	0.1	13	0.1	6.0	-59.3%	-53.8%	0.0005%	0.01%
ミャンマー	23	97	0	0	0	0	0	0	0	0	N/A	N/A	0.0%	0.0%
<b>全体</b>	<b>15,258</b>	<b>134,191</b>	<b>17,971</b>	<b>156,629</b>	<b>14,783</b>	<b>132,896</b>	<b>11,472</b>	<b>103,142</b>	<b>10,642</b>	<b>91,413</b>	<b>-7.2%</b>	<b>-11.4%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>

110290100 RICE FLOUR

出所：香港統計局「Hong Kong External Merchandise Trade」  
(2025年10月現在)

近年の米粉の輸入状況を見ると、コロナ以前の2017年（輸入量：16,690トン、輸入額1億2,819万香港ドル）、2018年（輸入量：19,513トン、輸入額1億5,712万香港ドル）、2019年（輸入量：18,422トン、輸入額1億5,302万香港ドル）と輸入量・金額ともに安定的であった。また、金額ベースでは2018年をピークに2021年に回復したものの、その後は年々減少傾向にある。2024年は金額ベースで前年比11.4%減の9,141万香港ドル、数量ベースでは同7.2%減の10,642トンであった（表4参照）。香港に輸入される米粉の中ではタイ産の米粉がもっとも多く、2024年の金額ベースでは全体の95.3%、数量ベースでは同96.9%を占めている。

日本産米粉は2021年をピークに近年では減少傾向にある。そのシェアも2024年は金額ベースで全体の0.6%、数量ベースでは同0.2%にすぎない。また、日本産米粉の輸入については、金額ベースで前年比17.8%減の59.3万香港ドル、数量ベースでは同17.8%減の26トンであった。

上記の通り、香港で流通している米粉はコメ同様、タイ産が主流である。

ジェトロが2024年11月～2025年2月にかけて現地市場価格調査を行ったところ、富裕層向けスーパーマーケットにある日本産の製菓用米粉は1袋500gで36香港ドル（約720円）、ローワーミドル向けスーパーマーケットにあるタイ産米粉（カンガルーブランド）は1袋600gで18香港ドル（約360円）、同タイ産特級米粉（超力ブランド）は1袋600gで20香港ドル（約400円）であった。

表 7：香港における米粉の小売販売価格（2024/2025 年）

品目名・商品名	販売単位	販売価格 (現地通貨)	原産国・産地	販売店の種別	販売店のターゲット
カンガルーブランド 米粉	600g	18.00	タイ	現地系	ローワーミドル
カンガルーブランド 糯米粉	600g	20.00	タイ	現地系	ローワーミドル
超カブランド 米粉 (特級)	600g	20.00	タイ	現地系	ローワーミドル
超カブランド 糯米粉 (特級)	600g	21.00	タイ	現地系	ローワーミドル
Topvalu 上新粉	200g/袋	9.90	日本	日系	アッパーミドル
富澤商店 製菓用米粉	500g/袋	36.00	日本	現地系	富裕層
波里 お米の粉 手作りパンの強力粉 笑みたわわ80%以上使用	500g/袋	40.00	日本	現地系	富裕層
熊本製粉 玄米粉のホットケーキミックス	200g/袋	21.90	日本	日系	アッパーミドル
共立食品 米粉のカヌレ	120g/袋	23.00	日本	現地系	富裕層
Pionner スフレパンケーキミックス	250g/袋	59.00	日本	日系	アッパーミドル
共立食品 米粉のフィナンシェミックス	80g/袋	20.00	日本	現地系	富裕層

出所：ジェトロ香港調べ（2025年3月）

一方、小麦粉の近年の輸入状況を見ると、コロナ以前の2017年（輸入量：189,210トン、輸入額8億2,339万香港ドル）、2018年（輸入量：183,941トン、輸入額8億2,780万香港ドル）、2019年（輸入量：178,531トン、輸入額8億46万香港ドル）と輸入量・金額ともに減少傾向にあり、コロナ禍後の2023年と比較し、2024年は金額ベースで前年比5.2%減の7億8,804万香港ドル、数量ベースでは同0.3%減の155,243トンであった（表5参照）。なお、2024年は小麦粉の輸入金額は米粉の8.6倍、数量では米粉の14.6倍輸入されている。

日本で製粉された小麦粉については、ベーカリーや麺類の材料として当地で活用されており、中国で製粉された小麦粉に次いで多く輸入されている。2024年は数量ベースで全体の17.7%、金額ベースで同21.6%のシェアを占めているが、2020年をピークに輸入量・金額ともに減少傾向にある。2024年は金額ベースで前年比7.6%減の1億7,056万香港ドル、数量ベースでは同2.5%減の27,529トンであった。

小麦粉や製菓材料を取り扱う卸売業者からのヒアリングによると、ベーカリーおよび洋菓子売上高の下落がその要因の一つだと言われている。また、米粉を使ったパンに関しては、熊本の糧友パン<sup>9</sup>の米粉パンをはじめ、日系ベーカリーの一部で米粉を使ったパンが販売されているが、原料コストと米粉を使ったパンの食感が要因し、日本で製粉された小麦粉ほど広がっていない。香港では、白米の好み同様、粘りのある食感よりもさらりとした食感が好まれる傾向がある。そのため、日本産米粉特有の、もちりとした粘りのある食感は好まれにくい傾向があるからである。

<sup>10</sup>URL : <https://ryoyubakery.com.hk/hk>

表8：香港における小麦粉の輸入推移

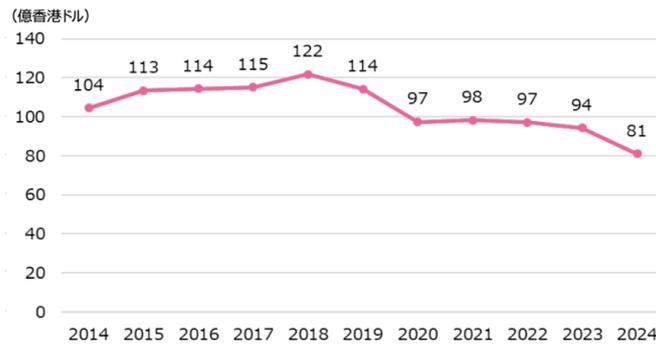
(単位：トン、1,000香港ドル)

	2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		前年比		構成比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額								
中国	64,300	266,676	68,033	284,785	71,356	343,990	75,889	355,191	77,974	352,214	2.7%	-0.8%	50.2%	44.7%
日本	37,935	188,851	37,521	202,668	30,134	200,389	28,233	184,688	27,529	170,563	-2.5%	-7.6%	17.7%	21.6%
台湾	23,688	112,242	18,795	97,655	15,502	93,205	16,039	89,989	15,608	87,091	-2.7%	-3.2%	10.1%	11.1%
ベトナム	10,362	38,020	10,800	42,140	11,383	53,736	15,276	71,942	15,130	62,928	-1.0%	-12.5%	9.7%	8.0%
韓国	11,844	51,306	13,700	59,473	12,481	70,836	7,289	48,965	5,697	37,981	-21.8%	-22.4%	3.7%	4.8%
フランス	921	5,433	1,029	6,357	1,135	7,776	1,512	11,447	2,050	15,274	35.6%	33.4%	1.3%	1.9%
シンガポール	2,556	11,377	3,387	15,415	3,478	18,854	3,222	16,853	3,191	15,272	-1.0%	-9.4%	2.1%	1.9%
スリランカ	2,957	9,116	2,449	8,103	1,837	8,249	3,164	14,433	3,121	12,502	-1.4%	-13.4%	2.0%	1.6%
タイ	3,040	17,373	2,370	13,720	1,533	10,290	1,646	10,936	1,492	9,076	-9.4%	-17.0%	1.0%	1.2%
インド	2,188	11,548	1,504	8,914	1,224	7,043	573	4,588	1,117	8,036	95.0%	75.2%	0.7%	1.0%
全体	167,668	749,813	167,003	776,603	154,645	841,577	155,754	831,150	155,243	788,040	-0.3%	-5.2%	100.0%	100.0%

11010010 OF WHEAT OR MESLIN FLOUR, SELF RAISING (94 KG)  
11010090 OF WHEAT OR MESLIN FLOUR, OTHER THAN SELF RAISING (94 KG)

出所：香港統計局「Hong Kong External Merchandise Trade」  
(2025年10月現在)

表9：ベーカリー・菓子売上高推移



出所：香港統計局

なお、香港では米粉や小麦粉以外にもでんぷんを原料とする、植物由来の粉が流通している。代表的な粉としては以下が挙げられる。

### 1. 粟粉（コーンスターチ）

保水力と増粘性が高いので、肉に下味を付ける際のつなぎとして使ったり、あんにとろみを加えたり、ケーキ等の焼き菓子の質感をしっとりさせたりする際に多く用いられる。

### 2. 生粉（ばれいしょでんぷん）

コーンスターチよりも硬く、増粘性が高いので、肉に下味を付ける際のつなぎや、揚げ物の衣として用いられている。

### 3. 番薯粉（サツマイモでんぷん）

吸水性・粘度が低いので「とろみ付け」には向いていないが、粘り気と弾力を高めたり、油で揚げたときにサクサクとした食感を生み出したりする効果があるので、中華団子の生地や、揚げ物の衣として用いられている。

#### 4. 木薯粉（タピオカでんぷん）

粘度が低く、油で揚げたときに硬くサクサクとした食感を生み出す効果がある（サツマイモでんぷんに似た特徴を有する）ので、揚げ物の衣や、肉に下味を付ける際のつなぎ、パン生地の原料として用いられている。

#### ◆4. 包装米飯の輸入状況と近年の動向◆

香港では、カップ麺やレトルト商品に代表されるように簡単便利な商材が支持されている。包装米飯（いわゆる「パックご飯」）も簡単便利な商材として日系スーパーマーケット等を中心に流通しているが、精米と比較しその種類は少ない。

その中、近年は韓国産包装米飯が地場系スーパーマーケットやミニスーパー、オンラインを中心に販売されている。韓国産包装米飯は、白米の種類や食味の美味しさを軸とする日本産包装米飯と違い、寿司用や発芽玄米、高タンパク玄米、こんにやく米などバラエティが豊富である。

ジェトロが2024年11月～2025年2月にかけて現地市場価格調査を行ったところ、富裕層向けのスーパーマーケットでは健康志向の高い人向けの商品を含めた日本産包装米飯が流通しており、たとえば、金芽ロウカット・玄米ごはん3食 x 150gで55.0香港ドル（約1,100円）、ウーケ 福岡県産めし丸・元気つくし1食あたり200gで22.0香港ドル（約440円）が販売されている。

また、香港の日系及び旧日系スーパーマーケットでは、包装米飯の他にもレトルトパック入りの粥や保存食用の米飯も流通している。



<写真：City Super<sup>10</sup>で販売される日本産包装米飯(左・中央)/ SOGO HONG KONG で販売される日本産包装米飯(右)（筆者撮影）>

アッパーミドル向けのスーパーマーケットでは白米の良さを伝える日本産包装米飯とともに、ローワーミドル向けスーパーマーケット同様、韓国産包装米飯（短粒米）が多品種流通している。

<sup>10</sup>URL : <https://online.citysuper.com.hk/zh/>

また、日系のローワーミドル向けスーパーマーケットでは日本産包装米飯が流通しているが、現地系のローワーミドル向けスーパーマーケットでは日本産包装米飯はほとんど流通しておらず、中国（長粒米）や韓国で製造された包装米飯が流通している。



<写真：City Super で販売される韓国産包装米飯（筆者撮影）>

表 10：香港における包装米飯の小売販売価格（2024/2025 年）

品目名・商品名	販売単位	販売価格 (現地通貨)	原産国・産地	販売店の種別	販売店のターゲット
金象牌 インスタントご飯（ジャスミン米）	170g/個	14.00	中国	現地系	ローワーミドル
CJ Foods インスタントごはん（白米）	130g/個	9.00	韓国	その他外資系	ローワーミドル
CJ Foods インスタントごはん（白米）	210g/個	15.00	韓国	その他外資系	ローワーミドル
CJ Foods インスタントごはん（玄米）	195g/個	17.00	韓国	その他外資系	ローワーミドル
CJ Foods インスタントごはん	210gx3食入	29.00	韓国	その他外資系	ローワーミドル
東遠 インスタントごはん	210gx3食入	38.00	韓国	その他外資系	ローワーミドル
金象牌 インスタントご飯（こしひかり100%）	170g/個	18.90	日本	現地系	ローワーミドル
ドン・キホーテ こしひかり インスタントごはん	180gx3食入	29.90	日本（新潟県）	日系	ローワーミドル
相馬屋 五つ星お米マイスターが選んだ 大盛	250gx3食入	38.90	日本（福島県）	日系	ローワーミドル
アイリスフーズ 低温製法米の炊きたてごはん	180gx10食入	75.90	日本（宮城県）	日系	ローワーミドル
全農 農協ごはん	200g/個	15.90	日本	現地系	アッパーミドル
沖繩食糧 ゆめびりか	200gx3食入	62.00	日本（北海道）	現地系	富裕層
東洋ライス 金芽ロウカット 玄米ごはん	150gx3食入	55.00	日本	現地系	富裕層
ウーケ めし丸 元気つくし	200g/個	22.00	日本（福岡）	現地系	富裕層

出所：ジェトロ香港調べ（2025年3月）

#### ◆5. 流通経路◆

香港では、玄米、精米ともにコメは備蓄品目の対象であり、コメの輸入は登録制で、輸入業者は輸入ライセンスが必要である。そのため、生産者から小売店や飲食店が直接購買することはほとんどなく、コメの輸入業者を通じて輸入されている。

流通経路に関しては、日本側の輸出商社が、生産者から集めたコメを検疫・通関し、香港政府指定のコメ専用倉庫に納めたのち、香港側の登録された輸入業者が（卸売の役割を兼ねて）小売店や飲食店、オンラインショップに出荷している。

輸入業者からのヒアリングによると、日本産のコメは主に船便で輸送される。品質を考慮してリーファーコンテナで運ぶ輸入業者もあれば、昨今高騰している物流コストを考慮して常温のコンテナで運ぶ場合もある。また、物流コストを考慮し、日本酒などと混載で運ぶ場合もある。

米粉および包装米飯に関してはその他加工品と同様、ライセンスは不要で備蓄する必要もない。流通経路に関しては、メーカーあるいは輸出商社から集めた商品を、香港側の食品輸入業者が（卸売業者も兼ねており）小売店や飲食店などに販売している。

また、香港ではコメおよびコメ加工品の輸入関税はなく、関税割当枠なども存在しない。

## ◆6. ルール・規制◆

香港では、コメの輸出入は登録制になっている。そのためコメの輸入業者はコメの在庫を登録し輸入ライセンスを取得する必要がある。

### (1) 輸入規制

#### ① 輸入禁止（停止）、制限品目（放射性物質規制等）

コメ・米粉について日本から輸入が禁止されている品目はない。また、原発事故関連の輸入規制もなく、放射性物質に関する特別な検査証明等の提出も必要ない。

#### ② 施設登録、輸出事業者登録、輸出に必要な書類等（輸出者側で必要な手続き）

日本からコメ・米粉を輸出するにあたって、香港側から求められる特別な許可などはない。農林水産省では、販売などの目的でコメを輸出する場合には、事前に地方農政局などへ輸出数量の届け出を行うことを義務付けている。届け出を行わなかったり、虚偽の届け出によりコメを輸出したりした場合には、20万円以下の過料に処せられることがあるため注意が必要である。（[「米麦等を輸出される方へ」](#)（農林水産省））

ただし、個人的使用に供するために非商業的に輸出される米穀や、米粉などの米加工品は届け出義務が免除されている。

#### ③ 植物検疫の有無

日本からコメ・米粉を輸出する場合、輸入検疫の対象にはなっていない。また、日本側で植物検疫証明書を取得する必要はない。

### (2) 香港の食品関連の規制

#### ① 食品規格

コメ・米粉に関する特別な食品規格はない。包装済み食品については、コーデックス委員会（CODEX）の食品規格にあるように食品の成分とその添加物について適切に表示しなければならない。

#### ② 残留農薬および動物用医薬品

香港では使用される農薬について、ポジティブリスト制を採用している。「食品中の残留農薬規則」(Cap.132CM Pesticide Residues in Food Regulation) Schedule 1 に挙げられている、農薬と食品との組み合わせごとに定められている最大残留基準値あるいは外因性最大残留許容量に照らし、含有量が規定値を超えている場合、該当する食品の輸入・販売などは禁止されている。また、Schedule 2 には規制対象外の農薬が挙げられている。(Cap. 132CM Pesticide Residues in Food Regulation (elegislation.gov.hk)) (ジェトロ仮訳)

### (3)重金属および汚染物質

#### 【重金属規制】

2025 年 9 月に施行された「2025 年食品混入不純物（金属汚染物質含有量）（改正）規則」(Cap.132V Food Adulteration (Metallic Contamination) (Amendment) Regulations 2025) では、2018 年改正版の食品分類数 144 分類から 2025 年版は 171 分類に増えた。また、分類数の増加に伴い、カドミウムではシイタケなど食用キノコ類（計 6 分類）の同基準値が、メチル水銀ではマグロ類など魚類（計 6 分類）の同基準値がそれぞれ事実上緩和された。今回の改正版では、乳幼児用穀類加工品の鉛について基準値が厳格化されている。

(<https://www.elegislation.gov.hk/hk/cap132V!en>)

具体的な対象品目については以下を参照のこと。

[https://www.jetro.go.jp/view\\_interface.php?blockId=40178526](https://www.jetro.go.jp/view_interface.php?blockId=40178526)

また、規制対象である「特定金属」と「特定食品」の組み合わせおよび含有上限量については、「2025 年食品混入不純物（金属汚染物質含有量）（改正）規則」の付表第 2 部 (Part 2 Maximum Level of Metal in Food) にリスト化されている。

[https://www.cfs.gov.hk/english/whatsnew/whatsnew\\_fstr/files/Guidelines\\_Cap\\_132V%20\(E\)\\_upload.pdf](https://www.cfs.gov.hk/english/whatsnew/whatsnew_fstr/files/Guidelines_Cap_132V%20(E)_upload.pdf)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2025/09/aaae7fa1daeda15e.html>

複数の原料から構成される「複合食品」についても、「特定食品」が配合されている場合には規制対象となる。また、改正規則 3 (4) に規定されたとおり、「複合食品のすべての原料が特定食品に該当する場合には、「(当該)複合食品に含まれる特定金属の上限量は、各原料の特定金属の上限量に、この複合食品に含まれる各原料の割合、重量比を乗じた値の合算」となる。

また、「特定金属」ではない金属であっても、危険値である、または有害性が疑われるような量の金属を含有する食品は、いかなるものでもヒトの消費用に輸入・委託・配送・製造・販売することが禁止されている。

#### 【有害物質】

有害物質に関しては、「食品有害物質規則」(Cap.132AF Harmful Substances in Food Regulations) (香港特別行政区基本法) の Schedule 1 に挙げられている物質が規定量を超える場合、また同 Schedule 2 に挙げられている物質が含まれる場合、該当する食品の輸入・販売などは禁止されている。

([Cap. 132AF Harmful Substances in Food Regulations \(elegislation.gov.hk\)](#)) ([ジェトロ仮訳](#))

「食品有害物質（改正）規則」が 2023 年 12 月 1 日より施行され、部分水素添加油脂（PHO）を含む油脂の輸入禁止、及び部分水素添加油脂を含む食品の販売及び流通が禁止されている。完全水素添加油脂を含む油脂や包装食品については、原材料表示に「水素添加油脂」と記載するか、原料の油名に「水素添加」と記載する必要がある<sup>11</sup>。

([香港の食品安全規則、立法会で改正\(香港\) | ビジネス短信 - ジェトロの海外ニュース - ジェトロ \(jetro.go.jp\)](#))

[https://www.jetro.go.jp/ext\\_images/world/asia/hk/law/pdf/hk\\_guideline2101.pdf](https://www.jetro.go.jp/ext_images/world/asia/hk/law/pdf/hk_guideline2101.pdf)

[https://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/trans\\_fat/overseas/hongkong.html](https://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/trans_fat/overseas/hongkong.html)

#### (4)食品添加物

香港では食品一般同様、コメ加工品には着色料・甘味料・食品保存料に関する規制がある。

([香港における食品添加物の規制状況（2014年3月） | 調査レポート - 国・地域別に見る - ジェトロ \(jetro.go.jp\)](#))

着色料に関しては「食品着色料規則」(Cap.132H Colouring Matter in Food Regulations) の Schedule 1 に挙げられている着色料を使用することができる。また、天然色素については同規則には掲載されていないが、一部使用が認められている。その他参考情報の「許可された着色料：天然色素」を参照。

([Cap. 132H Colouring Matter in Food Regulations \(elegislation.gov.hk\)](#))

([即食食品微生物含量指引 \(cfs.gov.hk\)](#))

甘味料に関しては「食品甘味料規則」(Cap.132U Sweeteners in Food Regulations) の Schedule に挙げられている甘味料を使用することができる。

([Cap. 132U Sweeteners in Food Regulations \(elegislation.gov.hk\)](#)) ([ジェトロ仮訳](#))

食品保存料に関しては 2024 年 10 月に改正された「食物中の保存料規則（改正版）」(Cap.132BD Preservatives in Food Regulation) の Schedule 1, No.1 に挙げられている食品保存料を、規定量の範囲内で使用することができる。

(<https://www.elegislation.gov.hk/hk/cap132BD>)

[https://www.cfs.gov.hk/english/whatsnew/whatsnew\\_fstr/whatsnew\\_fstr\\_Proposed\\_Amendments\\_Preservatives\\_Food\\_Regulation.html](https://www.cfs.gov.hk/english/whatsnew/whatsnew_fstr/whatsnew_fstr_Proposed_Amendments_Preservatives_Food_Regulation.html)

#### (5)食品包装（食品容器の品質または基準）

食品容器の規制に関しては、2024 年 4 月 22 日（月）から使い捨てプラスチックの使用が段階的に禁止となった。環境保護の観点から、以下のように業務用の使い捨てプラスチック製食器類やストロー等、プラスチック製品の使用が禁止された。製品によって、販売禁止、無料提供禁止、製造禁止の違いがある。

参照：

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/04/c812cf11fa039bba.html>

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2024/10/7ff7dc9653c6f561.html>

<https://www.greentableware.hk/en-us/home/index>

食品容器資材の卸売業者からのヒアリングによると、小売向けのパッケージに係るルールは現状明記されていない。また、発泡素材の容器については、小売向けに発泡素材の容器が使用されない傾向にあるものの、現状、発泡素材の容器に関してルールが明記されているのではなく、食品容器を取り扱う卸売業者が発泡素材の容器を取り扱っていないため使用が不可能、またはスーパーマーケットなどの小売店が発泡素材の容器を自主的に取り扱いをしていない。

## (6) ラベル表示

包装済みのコメや米粉、および包装米飯のラベル表示は、「食品および薬品（成分組成および表示）規則」〔Cap.132W Food And Drugs (Composition And Labelling) Regulations〕により規制されている。以下の項目を英語または中国語、あるいは英語と中国語の併用で表示することが求められている。

( [Cap. 132W Food and Drugs \(Composition and Labelling\) Regulations \(legislation.gov.hk\)](#) ) ( [ジェットロ仮訳](#) )

- ① 食品名
- ② 原材料リスト（原材料、アレルギー性物質、添加物を含む）
- ③ 賞味期限または消費期限
- ④ 保管に対する特別な条件、または使用上の注意に関する説明
- ⑤ 製造業者または包装業者の名前と住所
- ⑥ 数量、重量または容量
- ⑦ 栄養成分

表示またはラベル貼付規制の免除は、表示規則の付表 4「付表 3 の規定を免除される項目」（Items exempt from Schedule 3）を参照。

また、バイオテクノロジーの原料を含む食品（GM 食品など）の表示は現在任意で行われている。

なお、ビジネス上支障が生じるなどの事情がある場合には、ラベル表示に製造業者もしくは包装業者の代わりに、現地の卸業者（ディストリビューター）の情報記載をすることも可能である。詳しい手続きについては、関連リンク「加工食品表示ラベルに卸業者の記載が可能に」などを参照。

( [加工食品表示ラベルに卸業者の記載が可能に\(香港\) | ビジネス短信 —ジェットロの海外ニュース・ジェットロ \(jetro.go.jp\)](#) )

◆7. 参照◆

<日本産コメを扱う輸入業者>

**超力國際食品有限公司:**

所在地：香港柴灣康民街 10 號新力工業大廈 10 樓 A 室

Tel：852-2595-0999

URL：<https://www.chewy.com.hk/zh-hant/>

**City Super:**

所在地：香港九龍觀塘巧明街 110 號興運工業大廈 2 字樓

Tel：852-3960-9300

URL：<https://online.citysuper.com.hk>

Facebook：[fb@ceccoils.com](https://www.facebook.com/fb@ceccoils.com)

**Go Go Foods:**

所在地：Unit 1214, 12/F, Chai Wan Industrial City, No. 60 Wing Tai Road, Chai Wan,  
Hong Kong

Tel：852- 2515-3300

URL：<http://www.gogofoods.com.hk>

**Goldmali Ltd.**

所在地：B2 Hong Kong SOGO, 555 Hennessy Road, Causeway Bay, Hong Kong

Tel：852- 2518-7799

URL：[https://www.facebook.com/aokifreshfruit?locale=ja\\_JP](https://www.facebook.com/aokifreshfruit?locale=ja_JP)

**四洲集團：**

所在地：香港九龍觀塘 敬業街 41 號 四洲集團中心 31 樓

Tel：852-2219-5000

URL：<http://www.fourseasgroup.com.hk/hk/>

**福華堂・フクダ農園ひろき（千葉）**

所在地：C 8/F, Jing Ho Industrial Building, 78-84 Wang Lung Street, Tsuen Wan,  
N.T., Hong Kong

Tel：852-2788-2311

URL：<https://fukado.hk/zh/>

**JA 全農インターナショナル香港株式会社：**

所在地：香港葵青區葵涌興芳路 223 號 新都會廣場 1 座 12 樓 1201-6 室

Tel：852-2973-9000

URL：[http://www.zennoh-intl.com/overseas\\_zih.html](http://www.zennoh-intl.com/overseas_zih.html)

**JFC 香港：**

所在地：10/F., Ever Gain Centre, 43-57 Wang Wo Tsai Street, Tsuen Wan, N.T., Hong Kong

Tel：852-2428-6431

URL：[http://202.181.161.230/site/index.html?lang=zh\\_tw](http://202.181.161.230/site/index.html?lang=zh_tw)

**北川國際有限公司：**

所在地：香港新界荃灣沙咀道 40-50 號榮豐工業大廈

Tel：852-3152-2999

URL：<https://www.kitagawald.com>

**近藤貿易有限公司：**

所在地：香港九龍觀塘 敬業街 41 號 四洲集團中心 31 樓

Tel：852-2219-5200

URL：<https://www.newkondo.com.hk/index.php>

**久保田米業（香港）有限公司：**

所在地：4/F., Ever Gain Building, 21-23 Yuen Shun Circuit, Shatin, N.T., Hong Kong

Tel：852- 3184-0958

URL：<https://kubota-rice.com.hk/about/index.html>

**Maze Limited（美仕）：**

所在地：香港九龍油塘高輝道 15 號萬年工業大廈地下

Tel：852- 2524 2868

URL：<https://www.apmaze.com.hk/category.php?id=68&page=1>

**明邦（香港）有限公司：**

所在地：Room C5, 9/F., Block C, Ko Fai Industrial Building, 7 Ko Fai Road, Yau Tong, Hong Kong

Tel：852-3106-3400

URL：<http://mienboom.com/のホーム/>

**MRT Foods (Hong Kong):**

所在地：Flat 10,14/F Honour Industrial Centre, 6 Sun Yip Street, Chai Wan, Hong Kong

URL：<http://www.mrt-japan.jp/company.html>

**力生控股集團**

所在地：香港新界荃灣沙咀道 26-38 號 匯力工業中心 11 樓 02,06,07,10 室及 17 樓 16 室

Tel：852-2690-9800

URL：<http://nicsang.com>

**Parkn shop:**

Tel：852-2690-0948

E-mail：parknshop.info@asw.com.hk

URL：<https://www.pns.hk/zh-hk/>

**PPIH 安田精米(北海道)**

所在地：21/F, Mira Place Tower A, 132 Nathan Road, Tsim Sha Tsui, Kowloon, Hong Kong

Tel：852-3904-1481

URL：<https://www.dondondonki.com/hk/>

**神明亞洲**

所在地：[Rm 2610-11 26/F TRENDY CTR 682-684 CASTLE PEAK RD Cheung Sha Wan, Kowloon Hong Kong](https://www.akafuji.co.jp/business/overseas_project.html)

URL：[https://www.akafuji.co.jp/business/overseas\\_project.html](https://www.akafuji.co.jp/business/overseas_project.html)

**新利欄：**

所在地：香港西環西區副食品市場 B44 舖

Tel：852-2549-3753

URL：<https://www.sunleefood.com.hk>

**新華日本食品**

所在地：Sun Wah Centre, 215-239 Wu Shan Road, Tuen Mun, NT, Hong Kong

Tel：852-2404 3988

URL：<http://www.swjf.hk/>

**大發行:**

所在地：香港鴨利洲利興街 10 號港灣工貿中心 1008 室

Tel : 852-2540-6877

URL : <https://tfhco.com.hk>

**Wakka International (三代目俵屋玄兵衛)**

所在地：Room C1, 1/F, Tsuen Tung Factory Building, 38-40 Chai Wan Kok Street,  
Tsuen Wan, Hong Kong

Tel : 852-6806-1105

URL : <https://tawaraya.com.hk/jpn/>

**Wismettac Nippon Foods Co., Ltd.**

所在地：香港柴灣新業街 6 號安力工業中心 13 樓 1304 室

Tel : 852-2898-8126

URL : <https://www.wismettac.com.hk/eng/home/>

**<小売店>**

**AEON Style**

所在地：Units 07-11, 26/F, CDW Building, 388 Castle Peak Road, Tsuen Wan, New  
Territories, Hong Kong

Tel : 852-2565-3600

URL : <http://www.aeonstores.com.hk/>

**APITA (Unicorn Stores )**

所在地：Cityplaza 2, 18 Taikoo Shing Road, Quarry Bay, Hong Kong

Tel : 852- 2885-0331

URL : [https://apitauny.com.hk/?lang=ja\\_\\_](https://apitauny.com.hk/?lang=ja__)

**City' Super**

所在地：香港九龍觀塘巧明街 110 號興運工業大廈 2 字樓

Tel : 852-3960-9300

URL : <https://online.citysuper.com.hk>

Facebook : [fb@ceccoils.com](https://www.facebook.com/fb@ceccoils.com)

### **Don Don Donki (PPIH)**

所在地：21/F, Mira Place Tower A, 132 Nathan Road, Tsim Sha Tsui, Kowloon, Hong Kong

Tel：852-3904-1481

URL：<https://www.dondondonki.com/hk/>

### **SOGO HONG KONG**

所在地：555 Hennessy Road, Causeway Bay, Hong Kong

Tel：852-2833-8338

URL：<http://www.sogo.com.hk/>

### **PARKn SHOP**

Tel：852-2690-0948

E-mail：parknshop.info@asw.com.hk

URL：<https://www.pns.hk/zh-hk/>

### **Wellcome**

所在地：11/F Devon House, Taikoo Place, 979 King's Road, Quarry Bay, Hong Kong

Tel：852-2299-1888

URL：<https://www.welcome.com.hk>

### **YATA**

所在地：Unit No. 901-910, 9/F., Tower 1 Grand Central Plaza, No.138 Shatin Rural committee Road, Shatin, NT, Hong Kong

Tel：852-2634-2070

URL：<http://www.yata.hk>

【免責条項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。輸出支援プラットフォームでは、できる限り正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、輸出支援プラットフォームおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

執筆：農林水産物・食品 輸出支援プラットフォーム 香港

本レポートに関する問い合わせ先：

農林水産物・食品 輸出支援プラットフォーム 香港

TEL：852-2526-4067